

「グローカルシティ」における移動と定住

—日本人と外国人の比較から—

【概要】

グローバル化の中で移住者への関心が高まる一方で、特に地方都市では既存住民の定住継続が困難な状況もある。持続可能な「共生」のあり様を考えるためには、文化的・社会的差異とともに定住／移住の境界を問い直す視座も求められよう。

本ワークショップでは、日本人・外国人双方を対象とした調査成果をもとに、グローカルな場 (= グローカルシティ) の歴史性・地域性に焦点を当てつつ、この問題にアプローチしていくための手掛かりを得たい。

【日時】 2014年 9月5日(金) 13:00 ~ 18:00
9月6日(土) 9:30 ~ 17:00

【会場】 上智大学四谷キャンパス 2号館 5階 506教室

【プログラム】

9/5

- ・蘭 信三 (上智大) 「趣旨説明：グローカルシティ：飯田市の概要と本調査の目的」
- ・福本 拓 (宮崎産業経営大) 「外国人受け入れ意識と移動経験」
- ・蘭 哲郎 (大阪大・院) 「日本人・外国人市民の就業と地域参加における比較」

9/6

- ・武田里子 (大阪経済法科大) 「飯田市の多文化・多民族化の現状—聞き取り調査を中心に」
- ・蘭 信三 (上智大) 「飯田市における中国帰国者の生活と意識」
- ・ウラノ エジソン・ヨシアキ (筑波大) 「地域労働市場と外国人の就業形態
—上田市との比較から」
- ・グスターボ・メイレス (上智大・院) 「在日ブラジル人コミュニティの組織化」

【コメント】

高畑 幸 (静岡県立大) / 坪谷美欧子 (横浜市立大) / 阿部亮吾 (愛知教育大)